	議事録							
会議名	令和7年度 第1回 運営推進会議							
報告者	令和7年5月13日 渡部仁美							
日 時	令和7年5月13日(火) 13時25分~14時35分							
場所	ブナの木 事務所							
出席者	外部構成員:飯南町地域包括支援センター 嘉田様							
	外部構成員:老人会代表 奥野様							
	飯南町社協居宅介護事業所本田様							
	小田地区民生児童委員 山碕様							
	家族代表 松平様(藤原久子様次女)							
	ブナの木 : 所長 鹿田昌宏(真木地区民生児童委員) 管理者 次長 和久利祥吾 渡部仁美							
	合計 8名							
欠席者	なし							
会議内容	(1) 今年度の職員体制(4/1現在)							
	所長···鹿田昌宏(非常勤)							
	管理者·次長···和久利祥吾							
	計画作成担当者・・・渡部仁美							
	看護師…高尾陽子(非常勤)、松岡明美(非常勤)							
	常勤介護職員…鹿田実永(介護リーダー)、永井誠、井上弥玖							

非常勤介護職員…奥野克己、織田梨恵、永井美和

伊達美保、ユリ スシロワティ

調理員・介護職員…澤田多恵子

介護助手…伊達明莉

用務員···井上宮子、深石子恵美

計17名

(2) 人事異動について

介護士: 三島 貴子

6月1日付で庵からブナの木勤務へ異動

(3) サービス提供状況及び活動状況

☆登録状況(令和7年5月1日現在)

登 録 者 数 ••• 29名

介護度内訳

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	平均介護度
2名	6名	6名	9名	4名	2名	0名	29 名	1.6

性 別 人 数 ••• 男性10名、女性19名

☆サービス利用状況(4月実績)

通いサービス(定員16名)・・・ 1日平均 14.0名

訪問サービス ••• 1 日平均 8.7件

泊りサービス(定員9名)・・・ 1日平均 8.6名

*長期泊りサービス利用者の介護度は?→長期泊り8名利用

介護① 2名、介護② 2名、介護③ 2名、介護④ 2名

〇近 況 報 告

- ・新年度を迎え、有限会社いおりとしては新人 2 名が入社いたしました。2 名とも庵へ配属ですが、両施設が切磋琢磨して利用者様ファーストで頑張っていきたいと思っております。
- ・長かった冬も終わり、田畑の仕事も忙しくなって人の動きも活発になってきました。ブナの木のご利用 者でも冬季で足腰が弱っておられる方がおられます。外の空気を感じられるよう、ドライブや散歩など 外出の機会を多く支援しているところです。
 - ・職員で話し合いご利用者が畑へ出て苗植えから収穫、収穫した野菜を料理するところまでを行っていただけるよう目的を持ったレクレーションを実施しています。
- ・利用状況につきましては、3月に新規利用者1名がサービス開始となっております。現在1名のご利用者が入院中となっております。利用申し込みは1件いただいている状況で、登録者が29名となっております。

〇行事報告

- 4月6日~ お花見ドライブ (写真参照)
- 4月15日 道明寺(おはぎ)づくり
- ・5月8日~ ボタン見学・しめ縄館見学
- 誕生会
- *ドライブだけでなく散歩もしようと、近所の旧保育所の藤棚見学に行きました。
- *地域資源を生かした活動をしようと思っている。
- *小規模の畑作りを利用者様に聞きながら行っている。利用者様に野菜を作って、収穫して、料理して、 食べて、全て関わってもらおうと思っている。

○研修・会議報告

- ・飯南町サービス調整会議(1名参加) 毎月1回
- ・飯南町地域ケア会議(1名参加) 毎月2回

- 事業所内スタッフ会議 毎月1回
- 法人内連絡会議 毎月1回 (管理者、ケアマネ参加)
- 4/25 庵・ブナの木合同勉強会 ※正職とケアマネ対象 テーマ「介護レクについて考えよう」(10名参加)
- 身体拘束廃止委員会 3月に1回開催
- *身体拘束については、身体を縛るなどの行為はもちろんしないが、スピーチロックでご利用者の行動を 制止しないように、『ちょっと待って』など、理由をなく言わないように気を付けていきましょう、と話し 合いをした。また、遠く離れた位置からご利用者に声がけするのは、振り向いたときに転倒のリスクがあ るのでしないように注意した。

〇今後の行事予定

- ・たこ焼きパーティー、音楽鑑賞会、 おやつ作り、各月の誕生会
- 5/22 (木) 14:00~令和7年度第1回避難訓練(消防職員立ち合い) ※ご参加いただける方はよろしくお願いいたします。

〇今後の研修・会議予定

- ・サービス調整会議 毎月1回
- ・事業所内スタッフ会議 毎月1回
- ・法人内連絡会議 毎月1回
- 飯南町福祉施設協議会

飯南病院・久美浜病院 姉妹病院協定締結 10 周年記念式典 5/17 所長参加

- 防火管理者講習 6/18.19 次長参加
- ・雲南地域グループホーム・小規模多機能事業者協議会 総会 6/24 次長参加

(4)長期泊り利用者の状況報告

- ・現在、8名の方が長期泊りサービスをご利用中です。
 - 4名の方は独居生活で在宅生活が困難である方です。
 - 2名の方は介護量が多く在宅介護は困難である方です。
 - 2 名はご夫婦です。ご家族が病気の治療中で宿泊を利用されている状況です。

(5) MALL+family 本格始動について

以前ご紹介した MALL+family について、4月分利用料請求から本格的に運用が開始となりました。主に利用料請求書と施設からのお知らせを送信させていただきます。試験的に請求書やブナの木新聞を連携者様に送信してみましたが、スマホの画面では小さくて文字や写真が見にくいなどご意見を頂きました。ご要望があった方へは紙面でもお渡しすることになりましたが、会社としては当初の目的通りいずれは紙をなくしていく方向で考えております。アプリでは届いたデータをご自宅やコンビニのプリンターで印刷できる操作もあるため、必要な方には随時操作方法のご説明をしていきます。また、アプリには事業所と連携者様で連絡を取り合う「連絡ノート」という機能があります。こちらについても連携者様から使用できないのかと問い合わせがありましたが、現時点で使用は考えていないことをお伝えしました。

- *家族代表の方:画像は確かに小さいが、ブナの木新聞は読みたいところや家族が移っている所を拡大して見ている。特に問題を感じていなかった。
- *意見があったのはどのくらいか。→今のところ1件です。

(6)特定技能実置生の受け入れについて

現在、特定技能実習生 1 名の受け入れに向けて社宅の整備など進めております。順調に準備が整えば 6 月中にブナの木へ勤務する予定です。

介護士: ムティアラ シェリ アダニンガル ムティ (女性)

国 籍: インドネシア 年 齢:21 歳

- *もう一名実習生を給食事業部で受け入れを予定していますが、少し遅れて来日する予定。
- * どこにお住まいになられるか→影山建設さんの近くのOJKの社宅を買い上げて住まいをする予定。 ムティさんが先に来られる。日本に慣れてもらう事や息抜も考えてあげないといけないと思っている。
 - →参加者:以前愛寿園さんに入られていた方は、ビーユーさんが月2回買物支援等の支援をされていた。
 - →所長:現在町内に住んでいるインドネシア人も同郷だとすぐに仲良くなり、相談や話ができる様子。 人情深い方たちと思っている。カタカナで読んだり書いたりできる。現場でのタブレット使用 できると思っている。

(7) 令和7年度 年間行事計画について

※資料参照

外出や八神の庵と交流の機会を新たに計画しています。また、今まで所長が続けていましたブナの木畑も職員で継続していくこととしました。現在、ジャガイモ・サツマイモ・里芋・なすを植えご利用者と共に管理していきます。

- *所長は監督として居る。
- *年間行事計画は運営会議の皆様の意見を取り入れている。庵との交流会や新しいことも計画している。

- *生産性向上委員会は機材を使用していて、もりんやインカムなどを取り入れて3ヶ月に1回評価をしている。
- * 敬老の日はただお祝いをするのではなく、末永く元気に過ごしていただけるよう機能訓練の内容も交え て毎年思考を凝らして考えている。

*意見求める

→参加者:毎月おやつ作りができるのがいいですね。

(8) その他(要望・助官)

事例報告

以前も事例報告させていただいたことがありますが、認知症をお持ちのご利用者が住み慣れた地域で生活を続けていける地域包括ケアシステムですが、まだまだ地域の方の認知症に対する理解が得られない中、本人は認知症が徐々に進行しています。支えてくださる地域の方も高齢化してきて、支えてあげたい気持ちと体がついていかなくなっている状況です。地域の方から事業所に「本人に家に来ないでと話してほしい。」「サービスを増やしてほしい。」など問い合わせがあります。現在通いサービスを増やし、精神的に不安定な時などは訪問サービスの回数を増やした対応をしています。ブナの木がどのようにかかわれば穏やかに在宅生活が続けられるか、日々模索している状況です。確かに独り暮らしを続けることに限界はあると思います。

ブナの木として、できる限り住み慣れた地域で生活していただけるよう事業所の特性を生かした柔軟な 支援を行なっていくとともに、家族や支えてくださる地域の方と話し合いを重ねて役割を明確にしてい くことが必要だと感じています。

*アドバイスやご意見

- →包括:さまざまの状況があり、地域からお声がかかると思う。孤立しているかというと理解者や親身になって下さっていることが多い。飯南町では支援者のおられない方はなく、支援者がいらっしゃると思う。やっぱり地域のお声がある方からブナの木さんもコミュニケーションを取りながら現状どうしようもないことなので、致し方ない、悪いことでなく当然の意見でもある。その中でもご理解いただける方が一人でも二人でも増えていけるようになるといい。認知症の理解者を増やすために去年『ボケてもよろしくお願いします』の映画を上映した。今年も『おばば座の劇団』に来てもらって上映を考えている。多くの方に出かけて頂き、地域で理解して頂けるように、ひとりでも理解者増えるようにしていきたい。
- →ブナの木:その方の支援として、近所の方や親戚の方にも声掛けしながら支援を継続していきたい。
- ・地域での現状確認(困りごと等)
- * 真木の民生委員:体調を崩された方が役を持っておられ、地域にどのように知らせたり関わったら良い か先日考えた。今後どのようにしたらいいかわかっているといいと思った。
- *参加者(民生委員):自分のところには情報が入ってこない。情報がなくてもいいが、気にはしている。

- *参加者(民生委員):自分も他人ごとではない。いい方向に流れればいいが、ある程度年寄りの意見や話を聴いて、理解してみいだせるといい。最近地域で気にかけている人が居る、78歳の方であまり見ないようになり、歩かない、動かなくなっているのではないか、今年は田んぽを作っていない。把握するために地域の方で関わっている方に聞いてみたりしている。施設で支援される方は、言葉や文書にして、計画をして支援しているので、すごいなと思う。
- *参加者:寝たきりならやることほどやっていればみられるが、動く要介護者は大変なこともある。
- *参加者:昔は家族で支援をしていかないといけなかったが、施設や紙おむつがあるようになり、今は助かっている。
- ※令和7年度 第2回運営推進会議予定日

<u>令和7年7月8日(火) 13:30~ブナの木事務所にて</u>